



西区選出

東 貴之

来るぞ万博

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)

未来のテクノロジーが結集する大阪・
関西万博まで500日を切りました!
前売りチケット販売開始とあわせて、
市内の児童への夏パス配布も決定。

未来を担う子どもたちに是非、
未来への興奮を体験して
もらいましょう!

残り
500日切る!
2025年4月13日開幕

参加表明

153

↓
160

カ国・地域・機関



大阪市の子ども(18歳以下)

夏パス

配布決定!!

万博開催に向けた大阪の都市魅力UP♪

01 路上全面禁煙、喫煙所整備

万博開催の2025年から
市内全域で路上喫煙禁止
となります。
120箇所以上の喫煙所設
置に向け、民間事業者の
募集も積極的に行い、
官民連携して喫煙環境の
整備を進めています。

喫煙場所へ

02 道路白線整備

令和6年度末を目途に市域
全体の幹線道路の区画線補
修を行います。また今後は
ドライブレコーダーの映像
データ等を活用し、効率的
に区画線の補修・維持管理
を進めてまいります。

本年11月23日に
南海なんば駅北側エリアに
歩行者空間
「なんば広場」がオープン!
大阪のおもてなし玄関口として、
憩いや賑わい、多様な活動の
舞台となる空間を創出して
まいります。

03 歩行者空間 なんば広場

他にも
放置自転車対策強化
淀川左岸線整備
繁華街の道路の環境改善
etc...



万博を契機に**大阪**が

もっともっと住みやすい魅力的な街に変わります♪

Q1

万博に向けた一層の機運醸成

世界160カ国の最先端技術が織りなす未来を体験する万博。大阪・関西そして日本全体の成長に繋がるものであり、開催の意義は極めて高い。一人でも多くの方に来場頂き未来を体感頂けるよう、一層の機運醸成に取り組んでいって頂きたい。

Q2

地域活動協議会への補助率100%化、アプリ導入

地域活動への一層の支援のために決定された地域活動協議会への補助金補助率100%化は、煩雑だったみなし人件費の積算等が不要となり待望の声が大きい。申請事務サポートアプリ等の導入と併せて迅速に進めて頂きたい。

Q3

子育てクーポンの導入

子育て家庭を支える施策として、妊娠期からの子育て相談やレスパイトケアなどの支援の充実が必要。0から2歳児の保育料無償化への取組に加え、子育てクーポン導入での家事育児支援を検討して頂きたい。

横山市長に一般質問で要望!



大阪市議員
高山みか議員

大阪維新の会市会議員団を代表して高山みか議員(北区選出)が横山市長への一般質問で登壇しました。「新たな市政改革」、「教育子育て支援」、「大阪の都市魅力の向上」、の3分野を軸に、横山市長へ要望を行いました。これからもニアイズベターの観点から市民に寄り添った政策提言をしてまいります。

Q4

国際芸術祭の招致

大阪が誇る文化芸術コンテンツを都市格の向上や経済成長に活用していくべき。ヴェネチアビエンナーレのような大規模な国際芸術祭を大阪で開催し、世界のOSAKAとして存在感を発揮することにぜひチャレンジして頂きたい。

Q5

喫煙所整備、放置自転車含む繁華街の環境改善

路上喫煙禁止の実現に向け、喫煙所整備が急務。面積要件緩和や補助申請期間の延長などを検討し官民連携で整備を進めて頂きたい。また、放置自転車の夜間撤去の再開や、繁華街の道路の環境改善について取組みの強化を求めます。

大阪15年間の改革実績

項目	改革の成果
財政の健全化 (大阪市)	☆市税収入:6,708億円(2008年)→過去最高の7,859億円(2022年)！ ☆財政調整基金残高:1,191億円(2012年)→2,452億円(2022年)に改善！ ☆市債残高:5.2兆円(2008年)→3.0兆円(2022年)に改善！ ☆経常収支比率:99.2%(2008年、政令市平均以下)→92.4%(2022年、政令市3位)に改善！ ☆将来負担比率:246%(2008年、政令市13/17位)→-(なし)(2022年、同1/20位)に改善！
経済の活性化	☆大阪府内総生産:36兆円(2009年)→41兆円(2019年)に改善！ ☆人口流入:大阪市人口の2.5万人増加(2022年)は全国自治体1位！ ☆英エコノミスト誌発表の「世界で最も住みやすい街ランキング2022年」では日本で唯一のトップテン入りを達成！
次世代への投資	☆待機児童数:664名(2012年)→4名(2022年)に改善！ ☆小中学校の学校給食:お弁当持参→給食の導入→給食費の完全無償化を達成！

民間にできることは民間に移譲することで財政や組織の効率化を図ると共に、次世代への投資や都市魅力向上を積極的に進めてまいりました。かつて財政破綻寸前だった大阪の各種指標は劇的に改善し、負の遺産の整理やリニューアルも実現。今日では万博やIR招致など日本をリードする成長戦略を進める存在に転化しています。これからもなお一層、将来世代への夢を紡ぐ大阪の都市魅力向上に全力を尽くしてまいります。



負の遺産の リニューアル

なにわの海の時空館

総工費176億円・2013年閉館

↓
2025年再オープンへ、事業予定者決定!



弁天町パラディッツ (Paradisso) POOLS → 空庭温泉 OSAKA BAY TOWER

大阪市港区弁天町バブル期に弁天町を大阪の副都心とすべく計画されたORC 200(Osaka Resort City)は大阪市役所主導で行った大型開発でしたが、637億円という莫大な債務が発生し破綻。大阪市が債務負担し、いまは民間に売却され、民間主導で新たなホテルと空庭温泉など商業施設が一新され賑わいを取り戻しています。

